

令和2年度平野区運営方針の振り返り【抜粋版】

経営課題1 地域に応じた安全・安心のまちづくり

戦略 ＜中期的な取組の方向性＞			業績	
			指標	進捗
【地域防災力の向上】 【地域防犯力の向上】 【地域活動力の向上】 【地域魅力の向上】			防災意識が高まったと感じる区民の割合：82.0％（令和4年度末までに80％以上） （無作為抽出による区民モニターアンケート）	順調
			地域防犯力向上の大切さを感じる区民の割合：57.1％（令和4年度末までに80％以上） （無作為抽出による区民モニターアンケート）	順調 ※1
			地域活動協議会を知っている区民のうち活動に参加したことがある・しようと思っている割合：53.6％（令和4年度末までに70％以上） （無作為抽出による区民モニターアンケート）	順調 ※2
			地活協の構成団体が、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態にあると思う割合：88.1％（令和5年度末までに90％以上）	順調 ※3
			区民ニーズを把握する機会：4回（令和3年度末までに6回以上）	順調 ※4
具体的取組		取組実績	指標	結果
1-1	【地域防災力向上に向けた支援】	・小中学校で実施する防災の取組：全9回 ・地域での防災訓練：全12回 ・災害時図上訓練：全2回 ・コロナ禍における避難所開設訓練：全2回 ・平野区役所全職員防災研修：全5回 222名参加	・防災の取組を通じて自助・共助の大切さを感じる区民の割合：89.2％（60％以上） （無作為抽出による区民モニターアンケート）	○
1-2	【地域防犯力向上に向けた支援】	・防犯キャンペーンの実施 ・見守り活動・パトロール等の実施	・防犯の取組を通じて地域防犯力向上の大切さを感じる区民の割合：57.1％（60％以上） （無作為抽出による区民モニターアンケート）	×
1-3	【地域活動力向上に向けた支援】	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、年度当初から地域活動も自粛 ・地域活動のあり方について各地域で検討され、中間支援組織とともに支援	・地域活動協議会を知っている区民の割合：52.1％（65％以上） （無作為抽出による区民モニターアンケート）	×
1-4	【まちの魅力の向上に向けた未利用地の有効活用】	・区政会議などの場において、区内未利用地の有効活用を図るまちづくりについて意見交換を実施	・区政会議などの場において区民ニーズを把握：4回（3回以上）	○

経営課題2 すべての人と人とのつながり支えあえる福祉のまちづくり

戦略 ＜中期的な取組の方向性＞			業績	
			指標	進捗
【地域福祉力の向上】			隣近所でつながり支えあい助けあいが行われていると感じる区民の割合：93.3％（令和3年度末までに70％以上） （地域福祉活動参加者へのアンケート）	順調
具体的取組		取組実績	指標	結果
2-1	【各地域の特性に応じた地域福祉支援体制の充実】	・各地域の課題抽出や分析を行い、地域の福祉活動への支援など：5地域 ・コロナ禍における地域の特性に応じた緩やかな見守りについて連絡会などを通じて共有・情報発信 ・お互いがつながり支えあうしくみについて、地域住民などと検討：1地域	・お住まいの地域で、緩やかな見守りや相談活動が行われていると感じる区民の割合：84.5％（75％以上） （地域福祉活動参加者へのアンケート）	○
2-2	【地域における支えあい活動への支援】	・地域等における「いきいき脳活サポートマニュアル」を用いた取組を行っているグループ 52か所 ・いきいき脳活検討会：5回開催、いきいき脳活研修会：3回開催 ・いきいき百歳体操：45箇所	・認知症についての情報を得て自ら認知症予防などの取組に参加したいと感じた区民の割合：75.3％（70％以上） ・講演会の配付アンケートにおいて、発達障がいなど、何らかの気づきがあったと感じた割合：84.5％（80％以上） （感染症対策のため、講演会は中止し、区HPにより講演会資料を広報）	○

経営課題3 こどもが元気で育つまちづくり

戦略 ＜中期的な取組の方向性＞			業績	
			指標	進捗
【こどもの生きる力の向上】			こどもたちの「生きる力」につながる学習意欲又は自尊心が高まったと感じる事業参加者の割合：93.3％（令和4年度末までに85％以上）	順調
			こどもサポートネット支援対象者件数：311件（令和4年度末までに300件以上）	順調
具体的取組		取組実績	指標	結果
3-1	【児童虐待防止・早期発見への取組や子育てに悩む親への支援】	・子育て支援者対象の「スキルアップ講座」：年2回 インターネットを利用した、子育てに関する情報発信の充実：月1回以上更新	・地域連携会議：22か所実施（22か所） ・子育てについて必要な情報を入手できていると感じる子育て世代の保護者の割合：42.7％（60％以上） （無作為抽出・乳幼児健診参加者による子育て世帯向けアンケート）	×
3-2	【こどもの学習意欲の向上】	・読書ノートの取組については、一定の基準を超えた児童・生徒を表彰 ・家庭学習・生活習慣の手引きを作成・配布 ・がんばる小・中学生について個人及びグループを表彰 ・読書ノートを区内の市立幼小中学の児童・生徒に配布	・児童の読書週間が以前より、定着してきたと感じる小学校の割合：95.4％（85％以上） ・アンケートで参加児童のうち「以前より学ぶことが楽しい」と感じる児童の割合：93.3％（75％以上） （各小学校で行う学力サポートアンケート）	○
3-3	【こどもたちへのサポートや学校生活の定着支援】	・こどもサポート推進員が学校と連携し、支援の必要なこどもと保護者に対して総合的支援を実施 ・高校生活の定着や卒業後の自立に向けた生活を支援 総合相談件数：10件 個別支援件数：29件（うち新規15件）	・こどもサポートネット支援対象者件数：311件（300件以上） ・個別支援を行った者のうち、進級・卒業・転学・単位取得などにおいて前向きな変化が見られた割合：93.1％（70％以上）	○

注）指標欄の（）内は目標数値
※1 コロナ禍で防犯活動が行えなかったため、低い数値となっているが、コロナ禍での取組を見直し、令和4年度末に向けては順調に進んでいるといえる。
※2 コロナ禍で地域活動が行えなかったため、低い数値となっているが、地活協の認知度も上昇してきているため、令和4年度末に向けては順調に進んでいるといえる。
※3 令和2年度末までに88％以上との目標を掲げており、令和4年度末に向け、順調に進んでいるといえる。
※4 年3回程度の会議開催が予定通り行われているため、令和4年度末に向け、順調に進んでいるといえる。